

# 令和4年度 菅田中ブロック学校評価アンケート 報告

(横浜市立 羽沢小学校・菅田の丘小学校・菅田中学校)

## I 令和4年度 菅田中ブロック学校評価アンケートの実施に当たって

菅田中ブロックでは、小中一貫教育ブロックにおける教育課程全体で育成を目指す資質・能力を『自分で考え、判断し、行動する力』とし、「9年間で育てる子ども像」と具体的取組を、次のとおり設定しています。

小中一貫教育ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」

〈習得した知識を活用して課題解決できる子〉

〈互いに表現し合い、自分の考えを深める子〉

〈自ら行動し、粘り強く取り組む子〉

具体的取組

- 小中の連携を深め、授業参観を通して互いに授業力の向上を目指す。
- 小中職員が一同に会する合同研修会の設定。
- 「9年間で育てる子ども像」を見据えた教育課程の編成。

文部科学省の「学校評価ガイドライン」では、学校評価の目的として、「各学校が、自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図ること」を挙げています。小中一貫教育推進ブロックの目指す目標としての「9年間で育てる子ども像」の達成状況を評価するため、「9年間で育てる子ども像」から3校共通の質問項目を設定するとともに、ブロック学校評価から見てきた課題を加え、児童生徒・保護者・教職員共通の質問項目として、昨年度、次の6項目を設定しました。

- (1) あなた(お子さん・児童／生徒)は、学習したことを生かしながら、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んでいる。
- (2) あなた(お子さん・児童／生徒)は、自分の意見や考えを言葉で表現している。
- (3) あなた(お子さん・児童／生徒)は、他の人との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている。
- (4) あなた(お子さん・児童／生徒)は、始めたことは、何でも最後までやり遂げようと頑張っている。
- (5) あなた(お子さん・児童／生徒)は、自分にはよいところがあると思っている。
- (6) あなた(お子さん・児童／生徒)は、自分の考えを積極的に表現して伝え、他者と関わり合いながら高め合っている。

これらの質問項目の設定の意図は次のとおりです。

○小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」から

- ・ 習得した知識を活用して課題解決できる子——ブロック学校評価アンケートの質問項目(1)
- ・ 互いに表現し合い、——ブロック学校評価アンケートの質問項目(2)
- ・ 自分の考えを深める子——ブロック学校評価アンケートの質問項目(3)
- ・ 自ら行動し、粘り強く取り組む子——ブロック学校評価アンケートの質問項目(4)

○令和2年度までの学校評価で見えてきた課題から

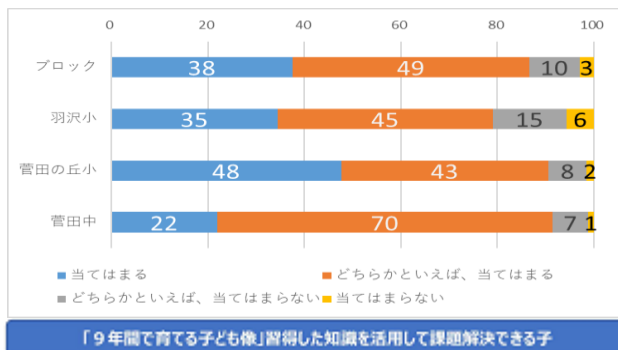
- ・ 自己肯定感——ブロック学校評価アンケートの質問項目(5)
- ・ コミュニケーション力——ブロック学校評価アンケートの質問項目(6)

II 令和4年度 菅田中ブロック学校評価アンケートの結果と考察

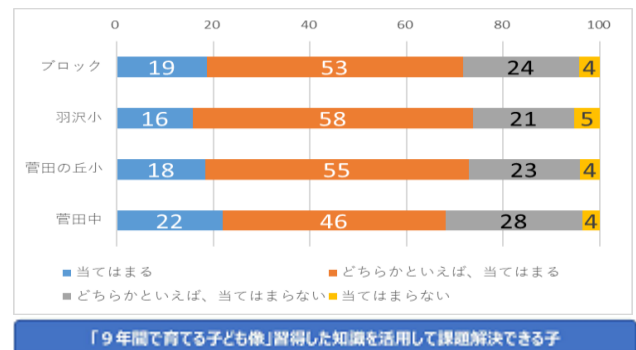
各質問項目の結果と考察

(1) あなた(お子さん・児童／生徒)は、学習したことを生かしながら、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んでいる。

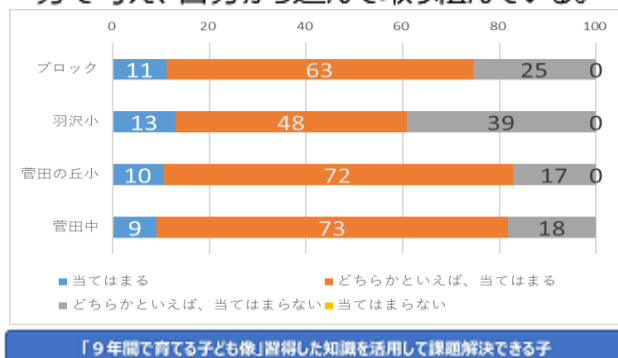
【児童生徒】(1) あなたは、学習したことを生かしながら、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んでいる。



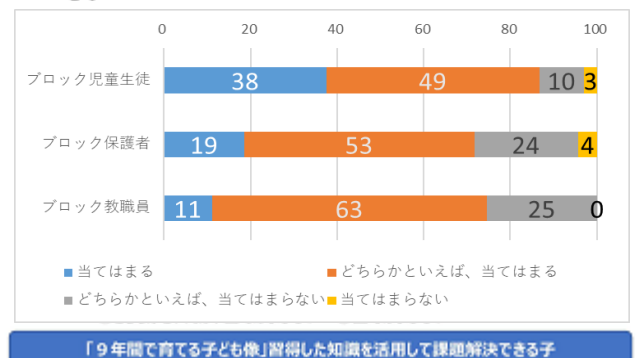
【保護者】(1) お子さんは、学習したことを生かしながら、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んでいる。



【教職員】(1) 児童／生徒は、学習したことを生かしながら、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んでいる。



(1) 学習したことを生かしながら、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んでいる。

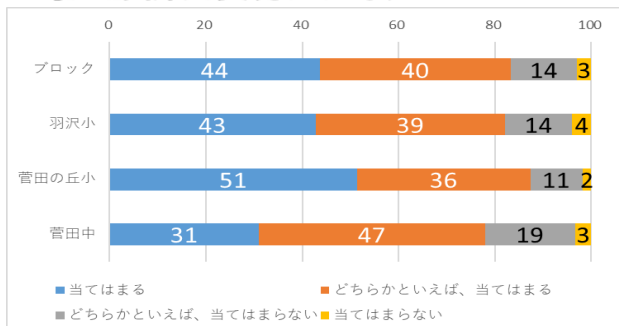


「児童・生徒」は 87% (前年度84% +3%)、「保護者」は72% (前年度74%、-2%)、「教職員」は 74% (前年度82% -8%、)が「当てはまる」「やや当てはまる」と答えています。

自ら課題を見つけたり、課題の解決に向けて自ら考え、進んで取り組んだりできるような授業づくりに取り組むと共に、保護者の皆様に学校での授業を見ていただく授業参観も、コロナ前と同程度に行っていきたいと考えています。

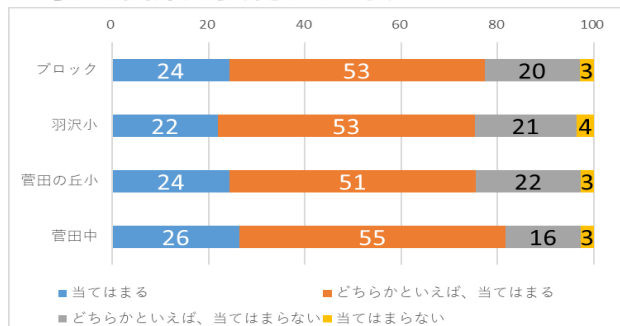
(2) あなた(お子さん・児童／生徒)は、自分の意見や考えを言葉で表現している。

【児童生徒】(2) あなたは、自分の意見や考えを言葉で表現している。



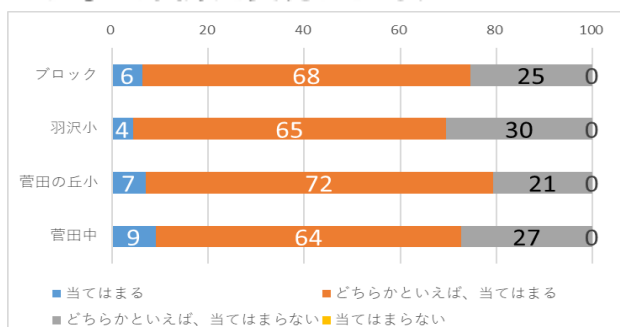
「9年間で育てる子ども像」互いに表現し合い(自分の考えを深める子)

【保護者】(2) お子さんは、自分の意見や考えを言葉で表現している。



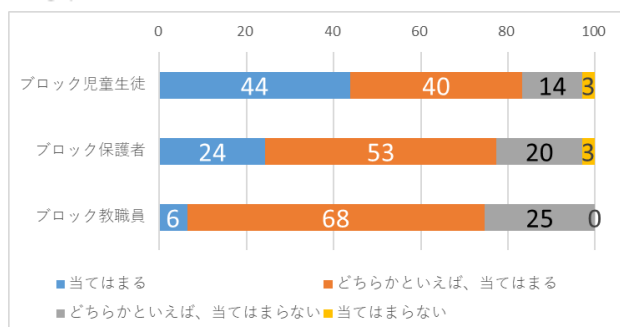
「9年間で育てる子ども像」互いに表現し合い(自分の考えを深める子)

【教職員】(2) 児童／生徒は、自分の意見や考えを言葉で表現している。



「9年間で育てる子ども像」互いに表現し合い(自分の考えを深める子)

(2) 自分の意見や考えを言葉で表現している。



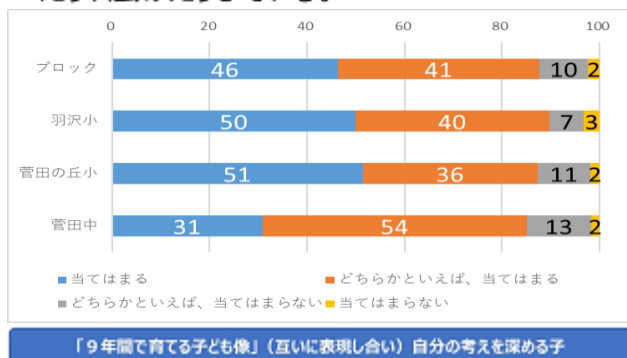
「9年間で育てる子ども像」(互いに表現し合い) 自分の考えを深める子

「児童・生徒」は84%(前年度82% +2%)、「保護者」は87%(前年度81% +7%)、「教職員」は74%(前年度86% -12%)が、「当てはまる」「やや当てはまる」と答えています。

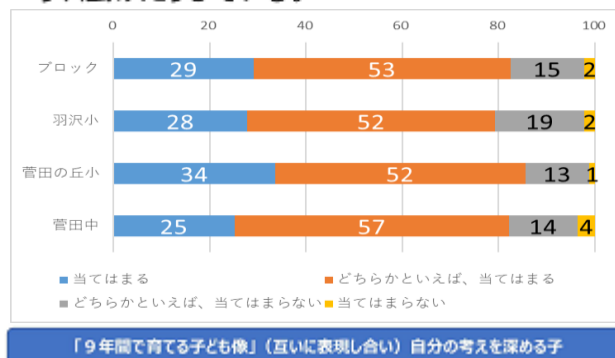
今後は、伝えたい、話したいと思えるような学習活動を積極的に取り入れるとともに、言葉で伝えることの意味や価値を子どもたちに伝え、意見や考えを伝えることの大切さが理解できるようにします。また、友達の発表を共感的に聞く力も育てていきます。

(3) あなた(お子さん・児童／生徒)は、他の人との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている。

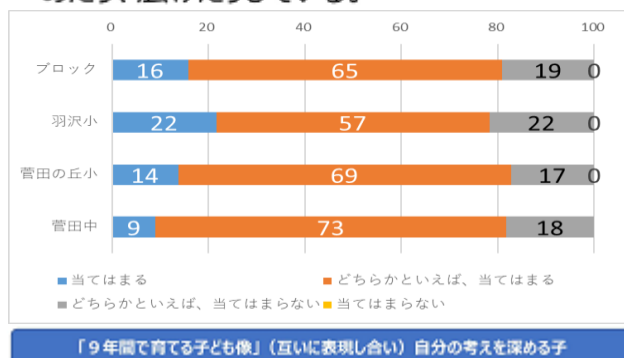
【児童生徒】(3) あなたは、他の人との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている。



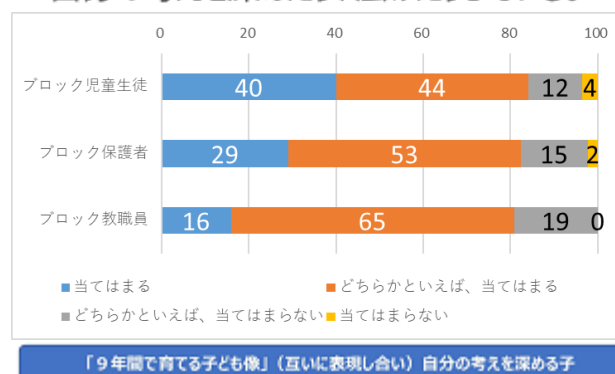
【保護者】(3) お子さんは、他者との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている。



【教職員】(3) 児童／生徒は、他者との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている。



(3) 他者との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている。

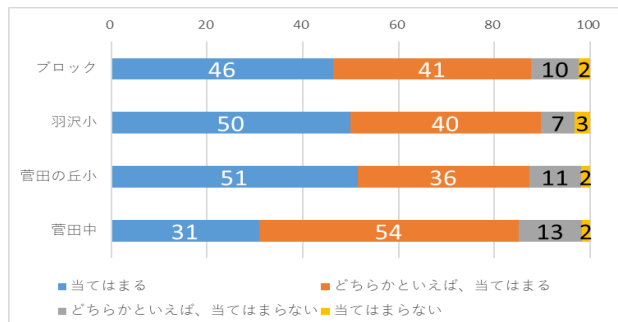


「児童・生徒」は84% (前年度78% +6%)、「保護者」は82% (前年度80% +2%)、「教職員」は81% (前年度77% +4%)が、「当てはまる」「やや当てはまる」と答えています。

今後、コロナ禍の制限が緩和されたことから、話し合う活動をより多く設定するようにします。切実感のある話し合いを行うことによって、友達と話したことによって自分の考えが広がったり深まったりしたことが実感できるようにします。また、話し合いの中で、自分の考えが「どのように変わったか」、「どのように学んだか」を振り返る機会も大切にしていきます。

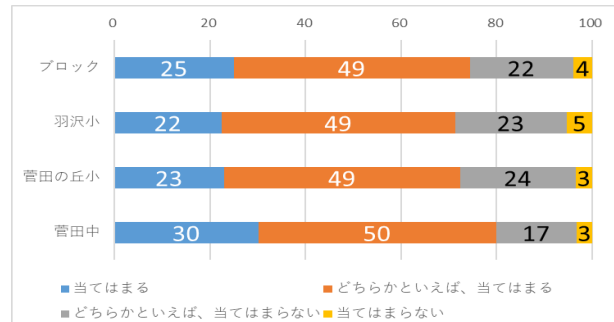
(4) あなた(お子さん・児童／生徒)は、始めたことは、何でも最後までやり遂げようと頑張っている。

【児童生徒】(4) あなたは、始めたことは、何でも最後までやり遂げようと頑張っている。



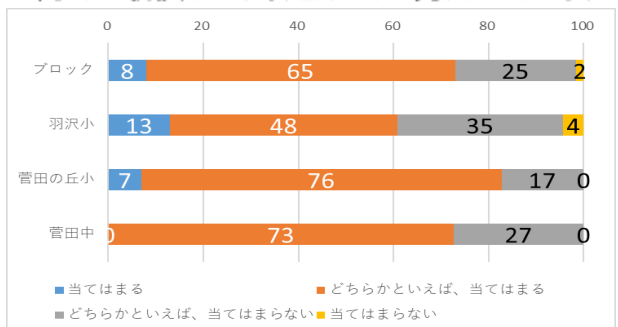
「9年間で育てる子ども像」自ら行動し、粘り強く取り組む子

【保護者】(4) お子さんは、始めたことは、何でも最後までやり遂げようと努力している。



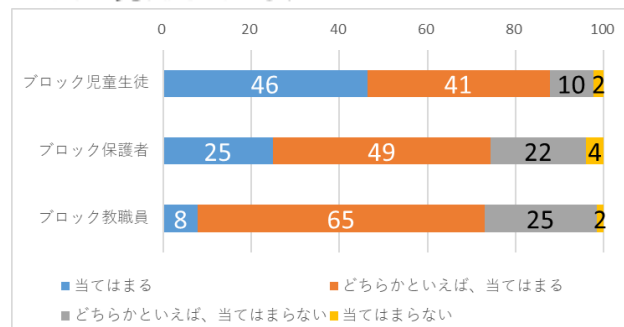
「9年間で育てる子ども像」自ら行動し、粘り強く取り組む子

【教職員】(4) 児童／生徒は、始めたことは、何でも最後までやり遂げようと努力している。



「9年間で育てる子ども像」自ら行動し、粘り強く取り組む子

(4) 始めたことは、何でも最後までやり遂げようと努力している。



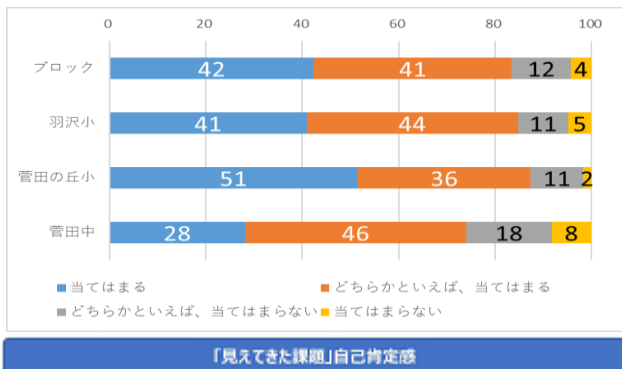
「9年間で育てる子ども像」自ら行動し、粘り強く取り組む子

「児童・生徒」は 87% (前年度 78% +8%)、「保護者」は 74% (前年度 74% ±0%)、「教職員」は 73% (前年度 81% -8%) が、「当てはまる」「やや当てはまる」と答えています。

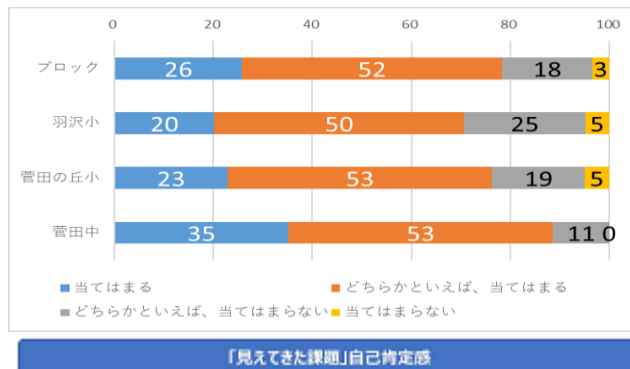
子ども達は、学校や家庭の様々な場面で、物事に一生懸命に取り組んでいます。保護者と学校が共に、やり遂げようと頑張る姿を称賛したり、支援したりすることが大切だと考えます。それによって、子ども達が粘り強くやり遂げる達成感や満足感を感じられるようにしていきます。

(5) あなた(お子さん・児童／生徒)は、自分にはよいところがあると思っている。

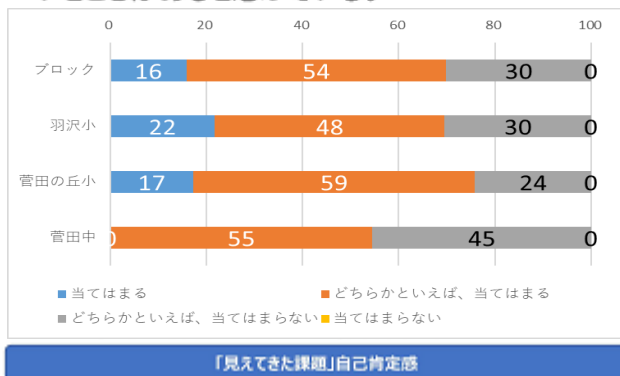
【児童生徒】(5) あなたは、自分にはよいところがあると思っている。



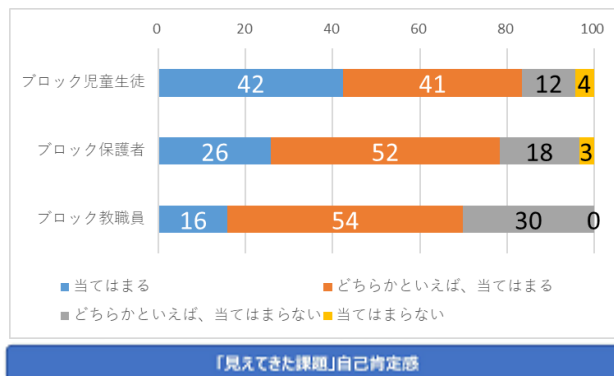
【保護者】(5) お子さんは、自分にはよいところがあると思っている。



【教職員】(5) 児童／生徒は、自分にはよいところがあると思っている。



(5) 自分にはよいところがあると思っている。

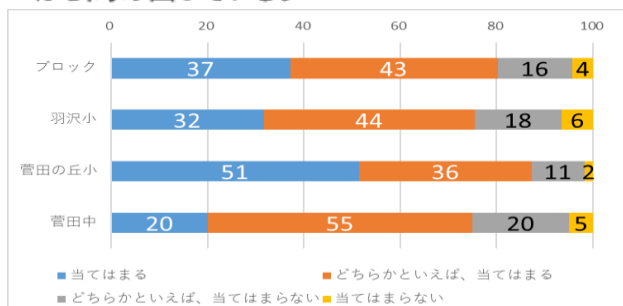


「児童・生徒」は 83% (前年度 73% +10%、一昨年 小学生 78% 中学生 51%)、「保護者」は 78% (前年度 86% -8%、一昨年度 79%)、「教職員」は 70% (前年度 75% -5%、一昨年 96%) が、「当てはまる」「やや当てはまる」と答えています。

これまでも、ブロック内の学校では、子どもたちの自己肯定感が高まるような取組を続けてきました。今後も、学校生活の中で、成功体験を多く経験できるようにしたり、自分から進んで努力する姿を積極的に称賛したりしていきます。

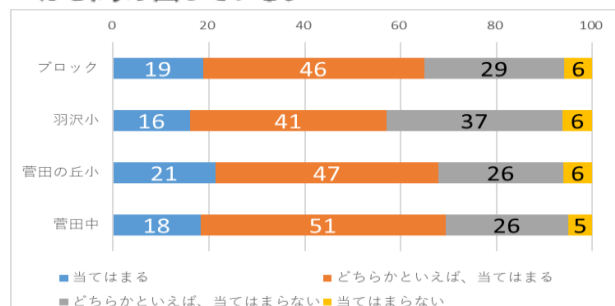
(6) あなた(お子さん・児童／生徒)は、自分の考えを積極的に表現して伝え、他者と関わり合いながら高め合っている。

【児童生徒】(6) あなたは、自分の考えを積極的に表現して伝え、他者と関わり合いながら高め合っている。



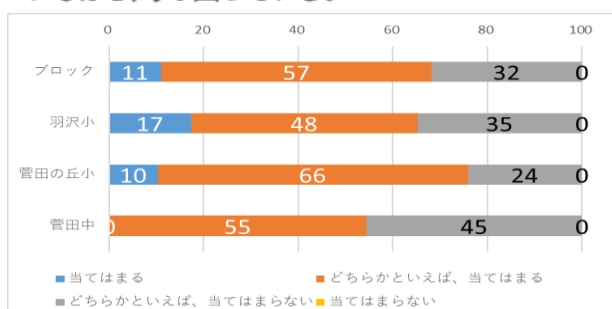
「見えてきた課題」コミュニケーションカ

【保護者】(6) お子さんは、自分の考えを積極的に表現して伝え、他者と関わり合いながら高め合っている。



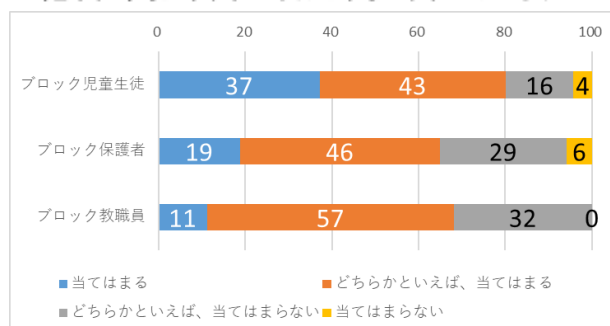
「見えてきた課題」コミュニケーションカ

【教職員】(6) 児童／生徒は、自分の考えを積極的に表現して伝え、他者と関わり合いながら高め合っている。



「見えてきた課題」コミュニケーションカ

(6) 自分の考えを積極的に表現して伝え、他者と関わり合いながら高め合っている。



「見えてきた課題」コミュニケーションカ

「児童・生徒」は77%（前年度74% +3%）、「保護者」は65%（前年度69% -4%）、「教職員」は68%（前年度66% +2%）が、「当てはまる」「やや当てはまる」と答えています。

子どもたち自身が、他者と関わり合うことの良さや価値を感じられるような授業作りが必要だと考えます。同時に、声に出して伝え合うだけでなく、タブレット端末の共有機能の活用なども進めていきます。互いに考えを伝え合ったり共有したりする活動を通して、さらに自分の考えを広げたり深めたりしていけるようになります。

#### まとめと次年度に向けて

現在横浜市では、質の高い学びの実現や、「小中9年間で育てる子ども像」を明確にした教育活動を大切にしています。学校評価アンケートを通して、保護者の皆様からいただいたご意見やブロック内他校の結果を参考にし、本校としての具体的な取組を考え、来年度に生かしていけるよう、教職員一同、これからもブロックで協力し合いながら、子どもと向き合い、質の高い学びが実現できるよう教育活動に邁進してまいります。掲載